

[修士研究報告]

産褥早期の授乳意欲尺度の開発と信頼性及び妥当性の検証 堀内 英子 (生活健康科学プログラム)	6
座右の銘が自己肯定感に与える影響 杉本 眞一 (人間発達科学プログラム)	12
パイロットの機長昇格訓練における自己理解に関する考察 — 継続的コラージュ制作と認知物語アプローチの試み — 青木 茂樹 (臨床心理学プログラム)	19
マインドフルネス・トレーニングが中学生の自尊感情に及ぼす影響 上地 朝子 (臨床心理学プログラム)	27
イメージ表現を加味した財産犯対象プログラムの視点取得の視覚化 畑村 晶子 (臨床心理学プログラム)	35
特別支援学級の教師に対する愛着形成が促進されたと思われる事例 前島 奈津子 (臨床心理学プログラム)	43
夜間中学における多文化共生の課題 野秋 貴靖 (社会経営科学プログラム)	51
日本の古都の顕著な普遍的価値発掘の可能性 — 鎌倉を事例に — 古舘 一弘 (社会経営科学プログラム)	59
闘病記にみられる二つの他者理解 三谷 維摩 (社会経営科学プログラム)	68
66年コーホートのライフコース — コーホート効果と機会の大小 — 湊 麻紀子 (社会経営科学プログラム)	77
流出した日本美術 — 明治期の文化財保護 — 及川 悦子 (人文学プログラム)	86
英語スピーキング活動への取り組みがもたらす英語力伸長への効果 小林 裕 (人文学プログラム)	94
日本語の多元的文字表記と広告 — 詩的機能に着目した広告表現の考察 — 小宮 みよ子 (人文学プログラム)	102
ウィリアム・モリスの〈美しい本〉とは — ケルムスコット・プレス刊本を通して見えたもの — 薦田 洋子 (人文学プログラム)	110

『看聞日記』にみる唐物と銅銭 — 勝負事の景品として — 榊原 亜紀子 (人文学プログラム)	119
Blaxploitation — コモディティ化するソウル・ミュージックにおける 「黒人性」のゆくえ, 1969-1974 — 佐藤 智徳 (人文学プログラム)	127
中英語聖書と近代英語聖書におけるラテン語接続法の 表出形態について 佐藤 信正 (人文学プログラム)	136
『ボヴァリー夫人』におけるイロニーの可視化 — ジャン・ルノワール監督による愛と美のアダプテーション — 設楽 ゆう子 (人文学プログラム)	144
日本語教師は初級日本語教科書に影響されているか — アンケート調査による一般日本語母語話者との比較 — 柴垣 優子 (人文学プログラム)	153
諸言語において選好されるテキストの受け手との距離感について — IKEAカタログからの考察 — 竹田 悦子 (人文学プログラム)	161
日本語学習者の対話における コミュニケーション・ストラテジー (CS) の研究 — 学習環境と相互行為に注目して — 平柳 慶子 (人文学プログラム)	170
船舶航路管制における通信英語の分析 — 文字化資料からの考察 — 藤井 浩太郎 (人文学プログラム)	179
ローティのネオプラグマティズム思想の形成過程の再検討 — 古典的プラグマティズム, ハイデガーとの関係を中心に — 松本 祐土 (人文学プログラム)	188
大坂町奉行所与力八田家と「八田家文書」 保田 恒雄 (人文学プログラム)	196
「生命の起源」の科学論 山田 久就 (自然環境科学プログラム)	204
西南日本外帯における層状含銅硫化鉄鉱床形成史についての研究 — 三波川帯野々脇と四万十帯北帯三尾鉱床の地質・変成作用について — 湯川 正敏 (自然環境科学プログラム)	212

[修士研究短報]

- 日本語対人コミュニケーションにおける
「言いさし」表現の受け手側の判断と解釈
川上 知津 (人文学プログラム) ————— 222
- レジャー環境の彫刻
— 1930年代ニューヨークとイサム・ノグチ《遊び山》—
児玉 哲明 (人文学プログラム) ————— 227
- ギュスターヴ・クールベの絵画とその背景としての労働観
豊島 眞 (人文学プログラム) ————— 233
- 河内源氏の文芸教育
長谷部 寿彦 (人文学プログラム) ————— 237
- 明治期における長崎外国人居留地の運営
— 地所と貸渡に見る諸問題 —
宮下 雅史 (人文学プログラム) ————— 241
- 長唄歌詞表現にみられる撥音「ん」の特徴
山田 佳穂 (人文学プログラム) ————— 245

[博士課程研究論文]

- 『予言集』などに見られるノストラダムスの年代観について
鈴木 大輔 (人文学プログラム) ————— 252
- 将門の乱と出挙
福田 美詠子 (人文学プログラム) ————— 262

2023年度教育研究活動委員会
オンラインジャーナルワーキンググループ ————— 271

編集後記 ————— 272